

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(米国2019年1-3月期GDP速報)

2019/5/7

りそなホールディングス 市場企画部

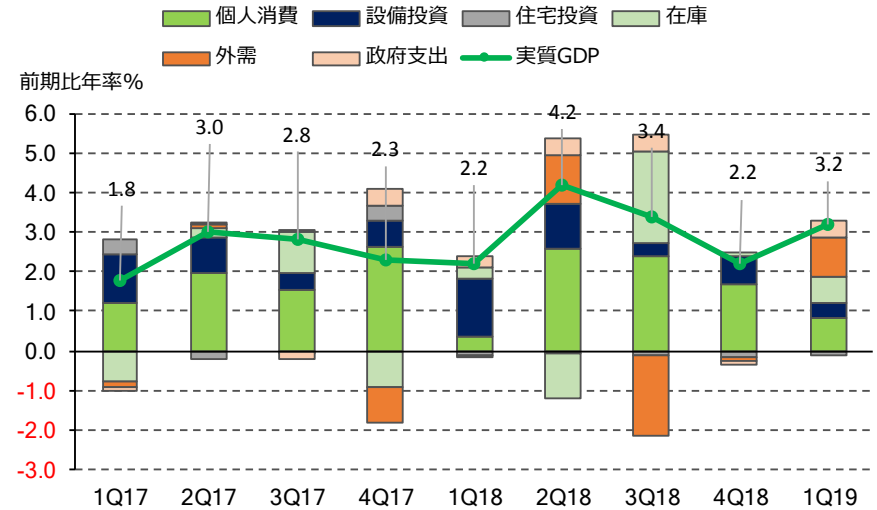


〇概況

- ◆ 1-3月期実質GDP成長率は前期比年率+3.2%
- ◆ 設備投資が大きく増加し市場予想に反して前期から伸びが拡大
- ◆ コアPCE価格指数は前期比年率+1.7%と伸びが拡大

- ✓ 2019年1-3月期実質GDP成長率は前期比年率+3.2%となった(市場予想+2.3%、10-12月期+2.2%)。尚、コアPCE価格指数は前期比年率+1.3%と伸びが縮小した(10-12月期+1.8%)。
- ✓ 個人消費は前期比年率+1.2%(市場予想+1.0%、10-12月期+2.5%)と伸びが縮小。耐久財(10-12月期+3.6%→1-3月期▲5.3%)は減少に転じ、非耐久財(+2.1%→+1.7%)、サービス(+2.4%→+2.0%)はそれぞれ伸びが縮小。米国の政府閉鎖の影響等により1-3月期の個人消費は伸び悩んだ。
- ✓ 設備投資は前期比年率+2.7%(10-12月期+5.4%)と伸びが縮小。内訳をみると、構築物(▲3.9%→▲0.8%)、知的財産(+10.7%→+8.6%)、機器(+6.6%→+0.2%)となった。住宅投資は前期比年率▲2.8%(10-12月期▲4.7%)と減少幅は縮小した。
- ✓ 在庫は前期比年率ベースでの寄与度が+0.65%ポイント(10-12月期+0.11%ポイント)とプラス寄与。
- ✓ 輸出は前期比年率3.7%(10-12月期+1.8%)、輸入は▲4.4%(10-12月期+0.5%)で外需はプラス寄与となった。
- ✓ 政府支出は前期比年率+2.4%(10-12月期▲0.4%)でプラスに転換。内訳は連邦政府支出が0.0%(同+1.1%)、州・地方政府支出は+3.9%(同▲1.3%)。
- ✓ コアPCE価格指数(食品・エネルギーを除くベース)は+1.3%(10-12月期+1.8%)で伸びが縮小した。
- ✓ GDP成長率は予想を上回る結果となったものの、背景は在庫の増加と内需の伸び悩みによる輸入の減少によるところが大きい。実態は前期比年率+3.2%という数字ほどの好内容とは言えず、割り引いてみる必要があるだろう。

【実質GDP成長率(季節調整済、年率)】



【実質GDP成長率寄与度(季節調整済、年率)】

	2018Q1	2018Q2	2018Q3	2018Q4	2019Q1
実質GDP	+2.2	+4.2	+3.4	+2.2	+3.2
個人消費	+0.4	+2.6	+2.4	+1.7	+0.8
設備投資	+1.5	+1.2	+0.4	+0.7	+0.4
構築物	+0.4	+0.4	▲0.1	▲0.1	▲0.0
機器	+0.5	+0.3	+0.2	+0.4	+0.0
知的財産	+0.6	+0.5	+0.3	+0.5	+0.4
住宅投資	▲0.1	▲0.1	▲0.1	▲0.2	▲0.1
在庫	+0.3	▲1.2	+2.3	+0.1	+0.7
外需	▲0.0	+1.2	▲2.0	▲0.1	+1.0
輸出	+0.4	+1.1	▲0.6	+0.2	+0.5
輸入	▲0.5	+0.1	▲1.4	▲0.3	+0.6
政府支出	+0.3	+0.4	+0.4	▲0.1	+0.4

【出所】米商務省、Haver Analytics

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。